

## 各団体における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>(1) 株新日鉄都市 開発大分支店 公募委員 (青柳理郎)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2児の父親として、子どもたちがのびのびと育ってくれる環境、つまり子育てに優しい街の要素とはなにか、子どもを育てたくなる理想的な街づくりとはなにかについて、モデルケースを想定して考えていきたいと思えます。</li> <li>○ そして、モデルケースの内容を実際の開発に生かせるよう、会社に取り組んでいるプロジェクトで提言していきたいと考えております。</li> </ul>
<p>(2) 大分県小中学 校長会協議会 (阿部三四子)</p>	<p>1 重点取組項目</p> <p>(1) 県民意識の醸成（広報・啓発活動の展開）に係る独自の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子育てをテーマにした講演会の開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 期日：平成17年8月9日（火）</li> <li>② 場所：大分文化会館</li> <li>③ 講師及び演題                     <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 毛利甚八氏（ライター・漫画原作者・写真家） 演題『地域と少年非行』</li> <li>(イ) 山本晋也氏（映画監督） 演題『泣いて、笑って、考えて』</li> </ul> </li> <li>④ 対象：県下の教職員、PTA等</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 地域における子育て環境の整備に係る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者や地域の人たちが学校行事等に参加しやすい職場環境作りの推進</li> <li>○ 地域の子育て支援団体との情報交換や教職員が地域行事等に積極的に参加する協力態勢の醸成</li> <li>○ 子どもが安全で楽しい学校生活が過ごせるよう家庭・地域と連携した安全管理対策の確立</li> <li>○ 児童育成クラブの支援</li> </ul> <p>2 その他の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 三世代交流活動や文化継承活動等による多様な体験活動の推進</li> <li>(2) 『総合的な学習の時間』を活用した「親子や地域の人たちとのふれあい活動」の推進</li> <li>(3) 読書指導や読み聞かせによる「心そだて」の推進</li> <li>(4) 運動会や文化祭等において「親子のきずなを深める活動」の推進</li> <li>(5) 近隣の幼稚園・小学校・中学校との連携活動の推進</li> <li>(6) 学級PTA等における子育て相談の充実</li> <li>(7) 学級担任や学校栄養職員等による「食育」の推進</li> </ul>

## 各団体における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>(3) 社団法人日本 助産師会大分 県支部  (安倍本子)</p>	<p>1 赤ちゃん&amp;おっばい電話相談            電話番号：097（534）0753            （何時も皆よい子で何もなくて7・5・3）            相談日：毎日（但し、土・日・祭日は留守電で当番助産所を紹介する。）            相談時間：10時から16時            相談内容：母乳育児、育児全般、妊娠・分娩・産褥、乳房ケア、            思春期・更年期・避妊等            相談料：無料</p> <p>2 思春期健康相談電話            電話番号：097（545）0460            相談日：月曜～金曜            相談時間：16時～18時            相談内容：思春期の健康全般</p> <p>3 「孫育て教室」の開催            開催日：第1回 10月15日（土）13：30～15：30                              大南公民館（予定）                      第2回 3月14日（土）13：30～15：30                              コンパルホール（予定）                      その他 依頼があれば県下各地に講師派遣            対 象：おじいちゃん・おばあちゃん、妊産婦と家族、育児に関心のある人                      なら誰でも参加できる。            内 容：「今と昔の子育て」「母乳育児の大切さ」「子どもとおもちゃ」                      「家庭内で多い事故と救急法」等            受講料：無料（但し、資料代300円必要）</p> <p>4 「タッチケア教室」の開催            開催日：毎月第1月曜日と第3月曜日（変更することもあり）                      2回でクール            開催時間：13：30～15：30            開催場所：くまがい産婦人科医院「くまちゃんホール」            参加費：2回で3,000円（但し、オイル1本とテキスト含む。）            その他：市町村の行う「タッチケア教室」に講師を派遣</p> <p>5 「いのちの出前講座おおいた」事業            対象：乳幼児期から社会人まで                      （小学校・中学校・高校・専門学校・PTA・子育てサークル等）</p> <p>6 双子を育てる親の支援活動            希望者に対して：「ツインズクラス」を開催                      「妊娠中の訪問相談」                      「分娩直後の乳房ケア」                      「乳幼児の一時預かりと親の交流会」                      月1回（第4土曜日）大分市南部公民館にて実施。</p>

## 各団体における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>(4) 大分県保育連 合会  (安東知子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「大分子育てハイパーネット(<a href="http://www.hoiku21.gr.jp">http://www.hoiku21.gr.jp</a>)により、子育てに関する情報を収集・発信するとともに、育児相談(子育てQ&amp;A)や情報交換(子育て広場)等の場を設け、子育て全般にわたる支援を行う。</li> <li>○ 小学校・中学校・高等学校における職場体験学習の一環として、保育所体験学習の受入れや中・高校生ボランティアの受入れを推進する。</li> <li>○ 保育所において、保護者の傷病・入院・育児疲れ等の事由に対応した一時保育を推進する。</li> <li>○ 保育サービスの質の向上を図るため、保育に関わる保育士等を対象とする各種の研修会を開催する。</li> <li>○ 地域の子育て支援サービスの充実に資するため、保育ニーズに対応した特別保育事業等に関する保育所の取組及び保育サービス提供の実態等保育所の経営・運営管理や保育内容の向上を目的とした保育実践活動、子育て支援活動の実態等について調査研究を実施する。</li> <li>○ 子どもの社会性を育むため、地域のお年寄りや保育所を退所した児童等との世代間・異年齢児交流事業等の特別保育事業を推進する。</li> <li>○ 児童虐待の早期発見・発生予防を推進するため、保育士等を対象とした研修会を開催するとともに機関紙等により行政通達等関係資料の情報提供を行う。</li> <li>○ 保育所に入所している乳幼児の健康と事故防止等安全に関する「保育所健康・安全保育研修会」を開催する。</li> <li>○ 給食により家族形成や健全な人間性育成に資する食育教育を継続して実施する。</li> <li>○ 子どもを生み、育てることの喜びや意義等についての理解を深めるための意識啓発等の取組みを進める。</li> <li>○ 各種のフォーラム、キャンペーン等の後援を通じて、生命の大切さ、家庭の役割や安心して子どもを生み、育てることができる社会の形成等についての理解を進める。</li> </ul>
<p>(5) 大分県商工会 連合会  (生島雄作)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子ども商店街事業  小学生を対象として、仕入れから販売という商売の基礎を教え、実際に街のイベントに出店、子どもたちに「ものを売る」という実体験を通じて、商売のメカニズムを知ってもらい、子どもたちの自立心を養い、チャレンジ精神を育てることを目的としている。 (安岐町、国東町、武蔵町で取り組む。)</li> </ul>

## 各団体における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>(6) 大分県社会 福祉協議会  (池邊廣司)</p>	<p>1 子育て中の方への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「支えあうまちづくり事業」の実施 地域で、住民が自ら見守りや助け合い活動を行うことにより、子どもからお年寄りまで誰もが住み慣れたまちで心豊かに安心して暮らしていける地域社会を築いていこうとするもの。  この取り組みにより、児童虐待や子育て不安を抱える家庭の早期発見・サポート等を含む、地域の支え合い(共助)を展開する。</li> <li>○ 子育てサロンの普及・支援 若年母子の子育て支援を目的に設置している「子育てサロン」を、県内全域への普及・推進を図る。</li> <li>○ 福祉医療機構「地方分助成」事業の「子育て支援部門」の推薦 民間の創意工夫を活かした子育て支援活動を振興するため、福祉医療機構「地方分助成」事業の「子育て支援部門」への活用の促進。</li> </ul> <p>2 子どもの健全育成への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ボランティア協力校を中心に福祉教育の推進。(90校) 小学校、中学校、高等学校をボランティア協力校に指定し、福祉についての理解を深めるとともに、ボランティア活動を推進する。 ボランティア協力校を対象に「福祉教育研究発表会」を開催する。これは、福祉教育やボランティア活動に取り組んだ実績等を発表する機会を提供し、他校の取り組みの参考にすることで活動の充実を図ることが目的。</li> <li>○ 夏のボランティア体験月間事業の普及推進 全国的に展開する夏期休暇中の当事業を、県内の小・中・高校に参加呼び掛けするとともに、受入側の社会福祉施設等との調整を図り、ボランティアの体験の場を提供する。</li> <li>○ 青少年福祉体験教室の実施 福祉施設職員の指導により、ボランティア活動の知識や技術を体験的に学習する。</li> <li>○ ふれあい学習会の実施 障害のある方を学校に招き、講演や交流することで、障害者が遭遇する問題や障害者への理解を深める。</li> <li>○ 児童・生徒の福祉意識向上のための障害者福祉体験受入協力 障害のある人への知識や理解を深め、マナーを身につけてもらい、手伝いができるようになることを目的に、身体障害者福祉センターで体験受け入れする。</li> <li>○ 青少年福祉の心醸成事業の実施 県内の小学校、中学校、高等学校を対象に、福祉入門講座等を開催し、高齢者や障害のある人々に関心を持つ機会を提供し、人を思いやる豊かな心や想像力、また、誰もが安心して暮らしていける社会を創造する力を育むことを目的に実施。</li> </ul>
<p>(7) 大分県高等学校 PTA連合会  (馬越敦子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次代を担う子ども達の育成のため、高等学校PTAの指導者研修会を開催。 毎年1回、8月に県下6地区で開催。 (県北・別杵国東・大分・県南・豊肥・久大) 本年度も開催。</li> </ul>

## 各団体における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>(8) 別府大学 (大嶋美登子)</p>	<p>○ 【大学教育のなかで】 大学という場は18歳から20歳代の若者たちが、自らの人生を方向付けるところである。彼らは、これからの社会を支え、近い未来子育ての中心となる人たちである。この問題を我がこととして考えることのできるよう、彼らへの働きかけは非常に意味があることであろう。本年度わたくしは、彼ら学生たちへの具体的働きかけ、および別府大学のなかでの働きかけとして3つの柱を立てている。</p> <p>① 講義のなかで かつて、妊娠してとまどったが、講義で命の誕生のすごさを学んだことを思い出し、産み育てると決意したという学生がいた。彼女が決意できたのは、子育てで孤立しなくてもやっていけるという思いもあったからであろう。大学教育のなかで、命の誕生ということ、子どもは社会がみんなですべて育てていくものであること、そこでのあなた方がどう考えどう行動していくか、鍵をにぎっていることを伝える。</p> <p>② 実習・サークル活動等のなかで 別府大学では保育士、小学校幼稚園教諭、中学校高校学校教諭、介護福祉士、栄養士、社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士などの養成を行っている。いずれも人間に関わる専門家として社会で活動することが期待されている職種である。また、子どもたちに関わるいくつものサークル活動がある。学生たちが実習や自主活動のなかで子どもたちを育てるといふことの意味を実体験として意識できるように働きかけている。</p> <p>③ 教員スタッフへの働きかけ 上記に述べたことを、関係の教員スタッフに子育てという視点で意識的に関わってほしいということ働きかけている。</p> <p>○ 【地域との連携】 大学には、心理学・社会学・教育学・福祉学・保育学など、次世代育成支援のために貢献できる知識やノウハウをもっており、その力を役に立てたいと思っている教員がいる。彼らはそれぞれに研究・教育・実践活動を行っている。その活動を支援するとともに、子育てという視点で地域から求められる研修会などの講師としての活動を依頼調整している。</p>
<p>(9) 大分県児童養護施設協議会 (太田恵子)</p>	<p>○ 児童虐待防止に向けて子ども、家庭、地域住民から様々な相談に応じ、専門的な指導・支援を行う</p> <p>○ 児童家庭支援センターの設置をすすめ、関係団体とのネットワークや支援システムづくりを充実させていく。</p>

## 各団体における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>(10) 別府市 (岡部光瑞)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子育て支援センターの設置 4月1日付け「西部児童館」内に設置。民間施設の「ナーサリーみにふう」も設置。既存の南部「わらべ」、北部「どれみ」を入れて市内4箇所設置となった。</li> <li>○ 延長保育の実施 中央保育所、鶴見保育所で実施。現在市内18箇所に設置。</li> <li>○ 一時保育の実施 鶴見保育所で実施。市内1箇所設置。</li> <li>○ 乳児の受入れ促進 鶴見保育所で実施。現在市内17箇所に設置。</li> <li>○ 放課後児童クラブの設置 上人が4月から、石垣が7月から設置。現在市内18箇所に設置。</li> <li>○ 児童館の設置 4月から「西部児童館」を設置。現在市内公立3箇所、民間1箇所の合計4箇所に設置。</li> <li>○ 子育て世帯が安全・安心して通行することができる道路環境の整備 (都市計画道路の整備) 秋葉通線、山田関の江線</li> <li>○ 安心して安全に遊べる公園の整備 上人ヶ浜、北浜、鶴見園、浜脇、朝日公園、鉄輪地獄地帯公園 (遊具改修、トイレ改修、樹木剪定、三世代ふれあい広場整備等)</li> <li>○ ファミリーサポートセンター事業 8月から西部児童館で開設。</li> <li>○ 「べっぷ子ども・子育て次世代育成支援行動計画」を別府市ホームページに登載 (別府市ホームページに「子育て支援」を掲載中) <a href="http://www.city.beppu.oita.jp/03gyosei/01seikatu/03kosodate/kosodate.html">http://www.city.beppu.oita.jp/03gyosei/01seikatu/03kosodate/kosodate.html</a></li> </ul>
<p>(11) ①大分県社会福祉士会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 大分県社会福祉士会</li> <li>○ 地域における子ども虐待の早期発見及び解決に向けた被虐待児・親を支援する人材養成事業 →伝達研修開催</li> <li>○ 福祉サービス第三者評価、調査者実務研修 保育所、障害児施設等の第三者評価に関する調査者(研修修了者)の実務研修や派遣に関する取組を8月より月1回定例化し実施。評価者のスキルアップと公正さを担保にすることを目指す。</li> </ul>
<p>②NPO子どもと親の相談センター 公募委員 (後藤みか)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>② NPO子どもと親の相談センター・大分</li> <li>○ 「愛着の絆をむすぶ」へネシー・澄子講演会 11月10日(木) 13:00~16:30 アイネス大会議室 参加費1000円 愛着障害についての最新研究と実践を基にした講演会と意見交換</li> <li>○ 「新・子どもの虐待防止に携わる人の研修」 1月14日(土)・15日(日) 9:00~17:00 14時間、 定員60人 参加費16800円 講師:森田ゆり(エンパワメントセンター主催) 相談活動:毎月1・11・21日 14時~18時 TEL:097-535-1119(来所可)</li> <li>○ 定例研究会:毎月11日 18時~20時</li> <li>○ 出前講座(要調整)</li> </ul>

## 各団体における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>(12) NHK大分放送局  (佐伯真規)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ NHKでは、～次世代をはぐくむ「仕事と家庭の両立」のために～と題して、日本放送協会行動計画を定めています。 その計画では、NHKは、公共放送として福祉・文化の向上と健全な民主主義の発展に役立つ放送を行うため、まずは、職場において働く者一人ひとりが責任を持って役割を果たすとともに、多様なライフスタイルを尊重する働きやすい職場環境づくりに努めるとしています。 同時に、公共放送で働く者として、次世代育成支援に資するよう放送をはじめとする日常業務を通じて積極的な社会貢献を果たすよう定めています。</li> <li>○ 全国放送でも行っていますが、ここでは具体的に大分局の取組を記します。</li> <li>○ 年間を通した特集番組「大分を創る」において、今年度は「少子化」をテーマに放送しています。この番組は、大分合同新聞社と共同制作する72分の番組で年間3回放送する予定です。 6月には、少子化問題を乗り越えるために「ツーリズム」が果たす役割と可能性を提示しました。今後は、11月に、教育をテーマに放送する予定です。</li> <li>○ 平日の夕方の地域番組(オアシスTVおおいた)の中の「ライフネット」(福祉やNPO等の活動を紹介する隔週のコーナー)で、随時、次世代支援に結びつく企画を放送しています。 例えば、3月には、児童が増えすぎて分離する大分市の大在小学校の現状、5月には、放課後の子ども達の行く場所を運営し始めた耶馬溪町の下郷小学校区の取組などを放送しています。</li> </ul>
<p>(13) 大分県中小企業団体中央会  (佐藤哲也)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中小企業事業主に対し、一般事業主行動計画の策定・実施等についてホームページ、機関誌を通じて情報提供を行う。また、雇用環境の整備等について、事業主に対し相談援助を行う。</li> <li>○ 中小企業等協同組合法に基づく企業組合制度を活用することにより、女性等による子育て支援を行うコミュニティビジネスの創業・起業の促進・支援をする。</li> <li>○ 企業と専修学校等との連絡調整の支援を行うことにより、日本版デュアルシステム(企業実習と教育訓練の組合せで若者を一人前の職業人に育成するシステム)の普及・促進を図る。</li> </ul>
<p>(14) 大分県商工会議所連合会  (柴田文子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 女性が働きやすい職場の環境づくりを会員企業へ呼びかける。</li> <li>○ 青少年育成についての講演会実施。</li> <li>○ 企業や従業員に対する育児休業制度など両立支援の広報、周知。</li> </ul>

## 各団体における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>(15) 大分県青少年 団体連絡協議会  (白根直樹)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 構成団体個々の特性を活かし、地域に密着した公民館等と連携し、青少年・親子参加型の子育て支援プログラムを企画・実施する。</li> <li>○ 子どもが自然や社会の中で、さまざまな実体験を通して、多くの人とふれあい対話から学ぶ機会を増やすことにより、地域の教育力向上を図る。</li> <li>○ 地域における子どもの育成と、子育て中の家庭を応援・支援する広がりある取組を進める。</li> <li>○ 子どもを生み、育てることの喜びや意義について、理解を深めるための意識啓発の取組を進める。</li> <li>○ 中・高校生や地域住民と子どもとの出会いや、ふれあう機会の拡充を図る。</li> </ul>
<p>(16) 大分県経営者 協会  (仙波美鈴)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業における仕事と家庭の両立支援に関する意識の醸成や固定的な性別役割分担意識を是正していくため、意識啓発を促す。</li> <li>○ 企業・経営者等に対し、多様な働き方など仕事と子育てをしやすい雇用環境の整備等についての情報提供、相談援助や周知・啓発を進める。</li> <li>○ 一般事業主行動計画の策定に関して内容の周知を行うとともに、会員企業等からの相談に応じるなど、取組の推進を図る。</li> <li>○ 意識啓発パンフレット等を活用しながら、企業における男女共同参画意識の高揚や、男女雇用機会均等法に規定されているポジティブ・アクションについての認識を深め、推進を図る。</li> <li>○ インターンシップ(大学生等が在学中の一定期間、企業において就業体験をすること)を通じて、若年者に対する職業体験機会を提供する。</li> <li>○ ジョブ・カフェ(若年者が雇用関連サービスを1か所でまとめて受けられるワンストップサービスセンター)事業を通じて、若年者やフリーターの就労意識の啓発に支援・協力する。</li> <li>○ ダイバーシティ・マネジメントの研究や労使共同で行っているワークシェアリングの推進活動等を通じて、多様な人材の活用や多様な働き方の推進を図る。</li> </ul>



## 各団体における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>(17) 日本労働組合 総連合会大分 県連合会  (高浦加代子)</p>	<p>1 広報・啓発活動の展開</p> <p>○ ホームページ「RENGO」に『お父さんお母さんでいられる時間をもっと！！』を開設中 (本部)</p> <p>掲載項目 「法律を変える」 “子育て、介護を社会全体で支えるために” ・私たちがほしい「仕事と家庭の両立支援法」 ～育児・介護休業法を「両立支援法」へ改正しよう～ 「労働協約で勝ちとる」 “法律は最低基準です。両立支援法を上回る条件を獲得しましょう” 「環境を整える」 “保育所・学童保育の拡充、労働時間の短縮を！” ・乳児・延長・休日・病児保育やファミリーサポートなどの多様な保育サービスの拡充 ・小学校区に最低一つの学童保育の確保 ・制度をわかりやすくするための職名、社会の理解を深める運動 ・育児・介護休業中の所得保障60%の実現 ・時間外労働の削減、休暇の完全取得など労働時間の短縮 <a href="http://www.jtuc-rengo.or.jp/new/wakaru/kurasi/jikan/index.html">http://www.jtuc-rengo.or.jp/new/wakaru/kurasi/jikan/index.html</a></p> <p>2 独自の取組項目</p> <p>○ 3・8国際女性デーの取組の中で、仕事と家庭の両立について街頭にてアピール行動を展開</p> <p>○ 労働者側の立場として、会社・事業主に対し、仕事と家庭の両立について環境整備の要求をする。</p> <p>○ 連合大分女性委員会として「フォーラム」を開催。組合員の意見交換や外部講師による講演を実施 (年1回)</p> <p>○ 子育て支援強化について、組合員の意見集約をもとに、行政に対する政策制度要請の中に入れる。 (要請項目) 子育て支援の強化、男女がともに仕事と家庭を両立できるための環境整備等</p>
<p>(18) ① 駕野校区児童育成クラブ  ② 新日本婦人の会  公募委員 (瀧本久美)</p>	<p>① (大分市) 駕野校区児童育成クラブ 昼間保護者のいない家庭の児童を対象に自主活動遊びを中心とした活動を通じて健全な育成を図る。 ◇対象者：小学1年生～6年生 ◇障害児の受け入れ (障害児の放課後保障、障害児・健常児が共に育ちあう環境づくりを図る) ◇体験活動としてキャンプ・観劇・映画鑑賞・季節の行事等を実施</p> <p>② 新日本婦人の会 子育てや暮らし、安全な食べ物、平和など女性の様々な要求を大切に、力を合わせてその実現のために活動をしている。 ◇子どもの教育や教育費について話し合ったり学習会を開催 ◇子どもの知的発達を促す親子リズム体操を実施 ・読み聞かせ・おもちゃ作り・誕生会なども取り入れている ・子育てサポーターが参加者のサポートを行っている ◇子育て講演会の開催 10月8日 10:30～12:00 親子リズム 13:00～14:00 子育てについての講演会 講師 熊丸みつ子 (幼児教育研究家) 鶴崎公民館にて 参加費：会員無料、会員外300円</p>

## 各団体における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>(19) 株エフエム 大分 (TOM G)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ トピックスの紹介・子どもに関するメッセージの紹介など、機会あるごとに、このプロジェクトの紹介</li> <li>○ またホームページの紹介などを行い、リスナーとキャッチボールをしながらこの問題に取り組みたい。</li> </ul>
<p>(20) 社会保険労務士  (西村慶治)</p>	<p>大分市(商工労政課)から大分県社会保険労務士会への委託契約により、次のような事業が実施されることになりました。 就労意識ウエイクアップ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャリア・コンサルタントを派遣します。 (大分市役所のHPをご覧ください。)</li> </ul> <p>「事業内容」 就労に関して悩みを抱える若者の相談に応じるため、相談者が希望する場所に、キャリア・コンサルタント(社会保険労務士)を無料で派遣して、相談者の状況に応じた適切な支援を個別に行う。</p> <p>「対象者」 大分市内に在住の16歳から34歳までの人(既婚者を含む)</p> <p>「相談時間」 午前10時から午後8時までの間の1時間</p> <p>「相談内容」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職に関する情報提供・職業に関する適性判断</li> <li>・履歴書の書き方・面接の受け方・職業訓練に関する情報提供</li> <li>・各種専門機関の紹介、情報提供・その他就労に関する相談</li> </ul> <p>「申込み先」 大分市商工部商工労政課労政係</p> <p>また、個人の活動として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ P T A活動を通じて、家庭・学校・地域(企業)の連携を図り、子どもの健全育成を支援するとともに、子ども達の生の声に耳を傾ける。(大分市立大分西中学校P T A会長)</li> <li>○ 民間企業や公的団体、幼稚園から大学等の教育関係機関や公民館他での講演活動等により、人権を尊重する意識づくりや男女共同参画社会づくりの支援。</li> <li>○ キャリアカウンセラーとして、高等学校やハローワーク他でのセミナー等で若者の社会人としての自立を支援。</li> <li>○ 大分労働局より委嘱を受けた育児両立支援職場環境整備コンサルタントとして、企業における「働き方の見直し」を普及啓発するとともに、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定・実施を支援。</li> </ul>
<p>(21) 大分県高等学校 校長協会  (波多野順代)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高校生の保育体験の推進などを通じて、子育ての意義や家庭の役割について理解を深める教育を進める。</li> <li>○ 高校生にしっかりとした勤労観や職業観を養うため、インターンシップや職場体験などの取り組みを進める。</li> <li>○ 体験・奉仕活動や地域との交流教育などの取り組みを進めるとともに、先進的な事例などの提供を行う。</li> </ul>

## 各団体における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>(22)                      (株)大分放送                      (藤川和子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 機会あるごとに、次世代育成支援(少子化・子育て支援)とかかわりのある問題を、ニュースやワイド番組の中で取り上げ、視聴者、聴取者がそれぞれの地域で、その問題を考えていくきっかけ作りとなるよう取り組んでいます。</li> </ul>
<p>(23)                      大分県医師会                      (藤本 保)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 育児等保健指導(ペリネイタル・ビジット)                      大分市・別府市・杵築市以外に在住の妊産婦への保健指導のために、県医師会・大分県産婦人科医会・大分県小児科医会が基金を拠出し、本事業を県下全域に実施している。                      育児不安の解消のみならず、妊産婦のメンタルサポートをはじめ、あらゆる問題解決に多大の成果をあげている。                      利用者の評価は非常に高い。</li> <li>○ 乳幼児健康支援一時預かり事業(病(後)児保育)                      現在、県下7ヶ所で実施されている。県内は全て病児保育である。病気の子どもの全てのニーズを満たし、病気であっても楽しく生き生きとした生活を保障し、両親の子育てと仕事の両立を充たしている。</li> <li>○ 大分県こども救急電話相談                      平日の19:00から翌朝8:00までと、休日の9:00～18:00, 19:00～翌朝8:00までの子どもの救急に対して電話相談を行い、家庭での対処方法を伝え、必要な場合は救急病院を紹介する。</li> <li>○ 大分県心臓病児療育キャンプ                      運動負荷テストなどにより運動許容量を評価し、楽しく1日を過ごして交流を深めるイベントを行っている。</li> <li>○ 児童虐待予防の推進                      日常診療において、児童虐待の早期発見、防止に努める。</li> <li>○ 定期健康診断・予防接種等                      定期健診などを通じて親子の心身の健康づくりを進めるとともに、保育所嘱託医・幼稚園園医、学校医の活動の活性化により乳幼児、児童の保健管理の充実を図る。                      予防接種週間等の実施により、予防接種の重要性を普及・啓発し、接種率の向上を図る。</li> <li>○ 不妊相談事業・周産期医療ネットワーク等への協力                      不妊専門相談センター事業への協力と不妊治療等により、不妊に悩む人への支援を行う。                      周産期医療ネットワークや小児救急医療体制の整備など、地域における母子保健医療体制の充実を図る。</li> <li>○ 健康教育等                      禁煙推進活動を通し、たばこによる健康被害を周知させる。                      学校医を中心として適切な性教育を行い、性感染症の予防を進める。</li> </ul>

## 各団体における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>(24) 大分県私立幼稚園連合会  (牧野由子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大分県私立幼稚園連合会機関紙「私幼連だより」や大分県私立幼稚園PTA機関紙「愛の花束」に子育てや少子化に関する特集を掲載するとともに新聞等により、各園の子育て支援事業を紹介する。</li> <li>○ 幼稚園の「園だより」「学級だより」などに子育ての楽しさや少子化に関する記事を掲載する。</li> <li>○ 地域や保護者の要請に応じ、幼稚園における預かり保育の拡充を図る。</li> <li>○ 安心して子育てができる環境づくりとして、保護者の負担軽減を図る。</li> <li>○ 預かり保育の実施に際し、土日夏休み等を利用して父親や地域ボランティア、異世代の参加を得て豊かな体験活動ができるように取り組みを推進する。</li> <li>○ 特別支援の受け入れと、充実を図るための研鑽を積む。</li> <li>○ 幼稚園においても地域の幼児教育のセンターとして子育て相談、子育て講座、子育てシンポジウムの開催等の取り組みを推進する。</li> <li>○ 幼稚園の園舎、園庭を開放し、地域の子育て家庭を対象にした親子の交流、親同士の交流の場を設置する。</li> <li>○ 家庭教育を支援するため、乳幼児の成長の節目に子育て通信を配布する。</li> <li>○ 中高生と幼児がふれ合う機会の充実を図るため、中高生の幼稚園体験学習の必要性と受け入れの理解を図るための取り組みを推進する。</li> <li>○ 「総合施設」のあり方などについての検討をする。</li> </ul>
<p>(25) 大分県民生委員児童委員協議会  (三宅桂子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県民児協だより「愛」を活用して、2,858名の民生委員・児童委員を含む県民に、次世代育成支援に関する啓発活動を行う。</li> <li>○ 赤ちゃんが生まれた家庭に、地域を担当する、担当の児童委員、主任児童委員が「お誕生日おめでとう」のはがきをお届けし、「新生児ハッピーメール運動」の展開を図る。</li> <li>○ 各種研修会において、子育て支援・次世代育成支援をプログラムに組み込む。</li> <li>○ 各単位民児協において、それぞれの地域にあった子育て支援活動や青少年健全育成活動などに積極的に取り組み、児童虐待や子育て不安を抱える家庭への相談に応じる。</li> <li>○ 地域における子どもの育ちと子育て家庭を応援し、広がりある取組を進めるため、身近な公共施設などで子育て中の親子が集い、対話ができる交流の「場づくり」を推進する。(子育てサロン、子育てサークル等)</li> <li>○ 児童虐待防止に向けて、市町村における児童虐待防止ネットワークへの参画や他の関係機関との連携を図る。</li> <li>○ 三世代交流を深め、世代を超えて地域で知り合い、助け合えるよう事例報告を含め、啓発活動を行う。</li> </ul>

## 各団体における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>(26) 大分大学  (山岸治男)</p>	<p>○ 植田東中学校卒業生保護者OB・OG会            ◇会の目的・趣旨            ・大分市立植田東中学校卒業生の保護者の有志が連携しあい、当中学校エリアの中学生を対象に、してほしい体験を提供し、思春期をそうした体験を通して通過させること。            ・平成17年4月に有志6人で結成、ゆるやかな個人ネットワークを基本にしている。</p> <p>◇これまでの活動            今のところ具体的な「体験提供」段階には至っていないが、以下の活動をしている。            ・会を結成したことについて、入学式の折に新入生の保護者に説明、また地域自治委員などに説明。            ・学校側との話し合い、PTAとの話し合いのもとで了解していただく。            ・二学期半ばから具体的取り組みができるよう下準備している。</p> <p>◇これまでの話し合いで提案された活動・体験例            ・地域行事・事業の紹介・市内美術展、音楽会などの紹介と参加者引率・折々の対話集会            ・ボランティア活動への参加 等</p>
<p>(27) 大分合同新聞社  (山本吉純)</p>	<p>○ 育児休業の取得水準の維持と向上を目指す            女性社員…取得率100%を維持する            男性社員…育児休業取得のための周知            ※出産予定(家族含)社員に対する制度の説明</p> <p>○ 相談窓口の明示と相談体制のより一層の整備</p> <p>○ インターンシップ・職場体験を通じ、若年者の安定就労自立した生活の推進</p>

## 各団体における次世代育成支援のための取組内容

関係団体名 (委員氏名)	次世代育成支援のための取組内容
<p>(28) 大分県PTA 連合会 (吉川喜代美)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報活動を通じた意識の向上               <ul style="list-style-type: none"> <li>①県PTA連合会広報紙「はぐく美」によるPTA活動の活性化及び学習に役立つ情報提供 (ネットワーク18「郡市P連等」一村一報等)</li> <li>②県PTA広報紙コンクールの実施</li> </ul> </li> <li>○ 子育てや地域環境に関する研修、講演会等の開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>①各郡市P連等のPTAにおける指導者研修会</li> <li>②平成17年度第13回大分県PTA研究大会日田ブロック大会 (平成18年2月4日(土)開催)</li> <li>③平成16・17年度大分県PTA連合会指定PTA研究発表会 (佐伯市立東雲小学校、日田市立高瀬小学校、大分市立大在中学校各PTA)</li> </ul> </li> <li>○ 各地域における子どもの健全育成の推進について 地区行事への児童・生徒、PTA会員の積極的な参加</li> <li>○ 県PTA専門部会の充実 健全育成部会、かそ地・障害児教育部会での活動内容の検討等</li> <li>○ 異校種ネットワーク事業「地域の宝」の取組 (県生涯学習課の委託事業)</li> </ul> <p style="text-align: center;">地域の子どもの健全育成のため、その地域の中学校、高等学校PTA(7ブロックに分割)が連携して実践活動を行う。 (平成18年2月25日(土)発表交流会を開催)</p>
<p>(29) 大分労働局 (吉竹浩一)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 改正育児・介護休業法の周知徹底を図るとともに、男女ともに育児休業等関係制度を活躍しやすい職場環境の整備を推進するため事業場への行政指導をはじめ制度内容及びその活用にむけて関係機関等とも連携を図り周知啓発を推進する。</li> <li>○ 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定・届出に当たり、義務づけ企業への行政指導及び助言等とともにできる限り多くの企業からの取組を促進するための働きかけを行う。 また、男性を含めた働き方の見直しをはじめとしてワークライフバランスに留意した両立支援対策の推進を図る。</li> <li>○ 女性も男性も働きやすく能力を発揮しやすい職場環境づくりを推進するため男女雇用機会均等法遵守に向けた行政指導をはじめ労使間紛争の解決援助及び女性の活躍促進を図るためポジティブアクションの取組を推進する。</li> </ul>